

キャプション凡例

- ① 写真のタイトル
- ② 撮影年代/撮影場所
- ③ 資料提供者(敬称略)
- ④ 解説文
- ⑤ 証言映像タイトル

6 病とともに生きる



- ① 陸軍看護婦生徒
- ② 昭和20年4月 奉天陸軍病院北陵分院
- ③ 千葉県 三浦 久良
- ④ 同病院を見学したときに、教育隊長と看護婦長、生徒を撮影したもの。三浦さんは同年7月、湿性胸膜炎で奉天陸軍病院入院。三浦さんは「看護婦生徒の手厚い看護のおかげで、生きてこられた」という。
- ⑤ 「馬とともに戦った戦場」

7 戦傷病者の妻たち



(新津 玉)

- ① 日本赤十字社救護看護婦として
- ② 昭和13年4月頃 松本陸軍病院
- ③ 長野県 碓井 二郎
- ④ 新津玉さんは、療養中の碓井さんと出会い、後に結婚した。玉さんは夫の右手を案じ、常々、様々なリハビリをうながした。長年支え続けてくれた妻への感謝の気持ちを、碓井さんは決して忘れることがないという。
- ⑤ 「七転八起」

8 証言映像シアター

当館では、証言映像“戦傷病者の労苦を語り継ぐ”を収録し、公開してきました。本展では、長野県で新たに収録したものを含む、記録映像を上映いたします(前期と後期で一部入替)。情報検索コーナーでも自由に視聴できます。また、上映作品も含め、DVDの団体貸出も無料で行っています。お気軽にお声をおかけ下さい。



- ① 妻とともに
- ② 昭和60年頃 愛媛県
- ③ 東京都 水沼 毅四郎
- ④ 夫の右足が義足のため、道路の段差につまずくと、すぐに倒れてしまう。それゆえ、妻は夫の右側に立つのが癖になった。
- ⑤ 「負けてたまるか」

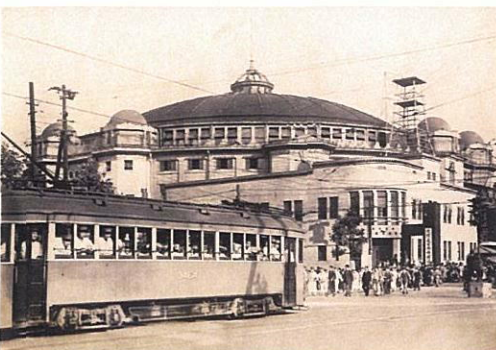
上映作品

「戦病者として生きる」*	上本昭夫さん
「信じあえばこそ、今」*	飯嶋芳郎さん
「奇跡の生還、そして苦難の日々」*	唐澤勝治さん
「生きる…それは死ぬよりつらかった」	伊東朝雄さん
「生と死に向かい合った2時間」	西村友雄さん
「働くために義手を」*	大目方邦治さん
「七転八起」*	碓井二郎さん
「負けてたまるか」	水沼毅四郎さん
「馬とともに戦った戦場」	三浦久良さん
「義足で、田んぼでも畑でも働いた」	飯島茂さん
「母に支えられて…」	又吉キクさん

*…新たに制作した映像

9 戦傷病者の受傷地図

10 戦傷病者と風景



- ① 傷病兵と両国国技館
- ② 昭和18年頃 東京都墨田区
- ③ 広島県 藤川 勇
- ④ 「義足の訓練で厳しい時に、大相撲の招待の嬉しさは未だに忘れられない。」

以上